

合併症予防を見据えた2型糖尿病治療戦略 ～経口GLP-1受容体作動薬に関する最新の知見～

順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科 教授
南野 徹 先生



日時

2020年12月24日 (木)
19:00～19:50

参加申し込み受付中

主催

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

概要

糖尿病合併症は患者のQOLや生命予後を悪化させるため、適切な糖尿病治療によって大血管および細小血管障害を抑制することが必要不可欠である。そのため、血糖コントロールや生活習慣の改善に加えて、降圧療法や血中脂質の管理など、他因子介入が糖尿病合併症予防の治療戦略となっている。インクレチン関連薬であるDPP-4阻害薬は、その有効性と安全性から多くの2型糖尿病患者に処方されている。一方で、近年発表されている2型糖尿病薬の心血管アウトカム試験の結果や、そのエビデンスを基にした海外のステートメント等によって、同じインクレチン関連薬であるGLP-1受容体作動薬 (GLP-1 RA)への関心が高まっている。本講演では、DPP-4阻害薬及びGLP-1RAによる糖尿病治療について作用機序を含めて概説し、心血管アウトカム試験の結果に基づいた最近の糖尿病治療戦略を紹介する。また、従来は皮下投与が必要であったGLP-1RAの経口製剤が日本でも使用できることになった。糖尿病合併症抑制を見据えた新たな治療選択肢としてのGLP-1 RAの可能性について、循環器医の立場から考察したい。

お申し込み

Web講演会をご覧いただくために、事前にごちらより視聴環境の確認をしてください。確認にしばらく時間がかかることもありますので、あらかじめご了承ください。本セミナーは、木村情報技術株式会社の技術協力のもと実施いたします。

お申し込み

Web講演会を最後まで視聴いただきますと、ページ内に視聴完了Expのボタンが表示されます。ボタンをクリックした後、1講演会1回限りExpを進呈致します。